

# 緑の流域治水における河川整備の取組み

令和8年6月18日



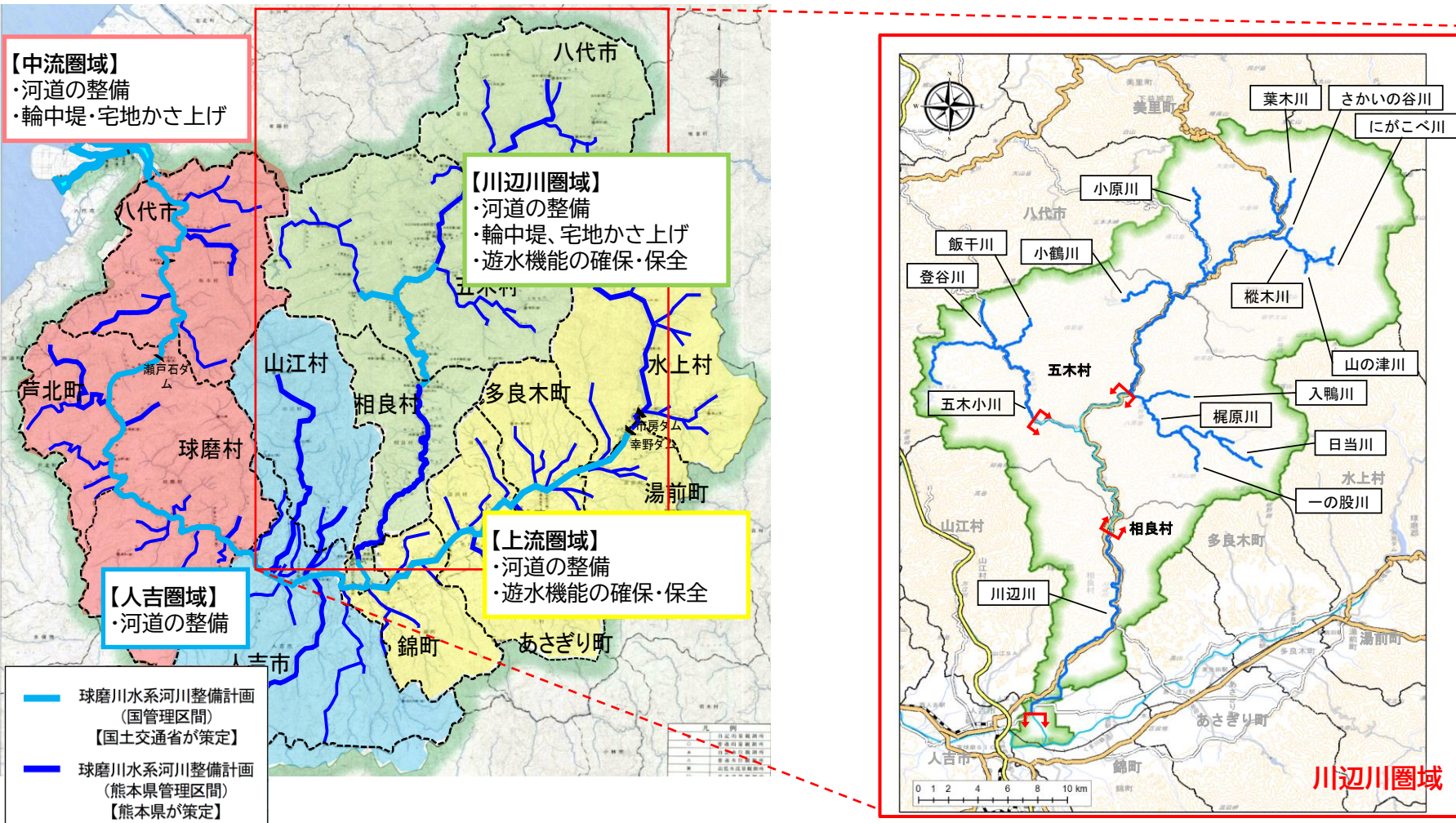
熊本県

# 球磨川水系の河川について

■ 県では球磨川流域内の80河川、延長432.9kmの区間を管理。

うち川辺川圏域は15河川、流路延長95.6km。

圏域位置図と主な治水事業



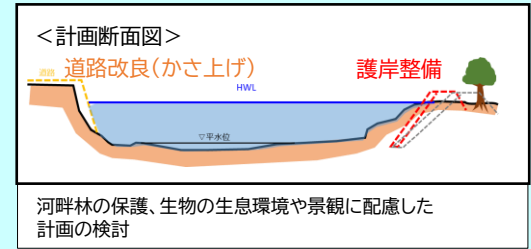
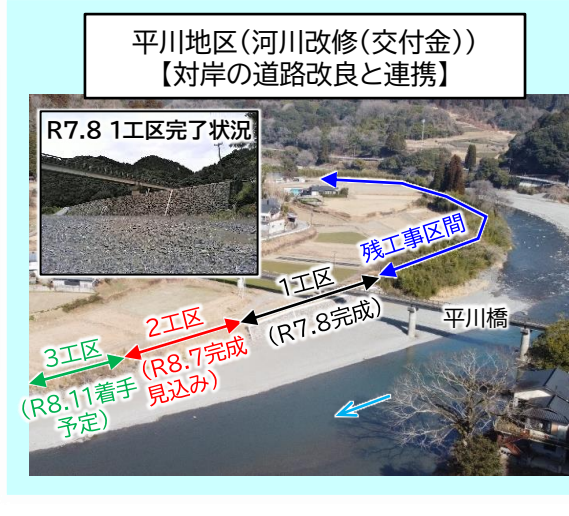
# 相良村内の川辺川河川整備について(1)

- 前田・境田地区では、3月から築堤に係る用地交渉を進めており、年度内に右岸築堤工事に着手する予定。また、改良掘削工事については5月に完了。
- 永江地区では、5月に村道擁壁工事が完了。6月に河川整備の用地測量着手に関する説明会を開催予定。
- 遊水機能を有する土地(下鶴、黒石地区)は、令和7年度に周囲堤が完成。下鶴地区ではワークショップ等を踏まえ、村の利活用の検討が進むよう県も支援していく。



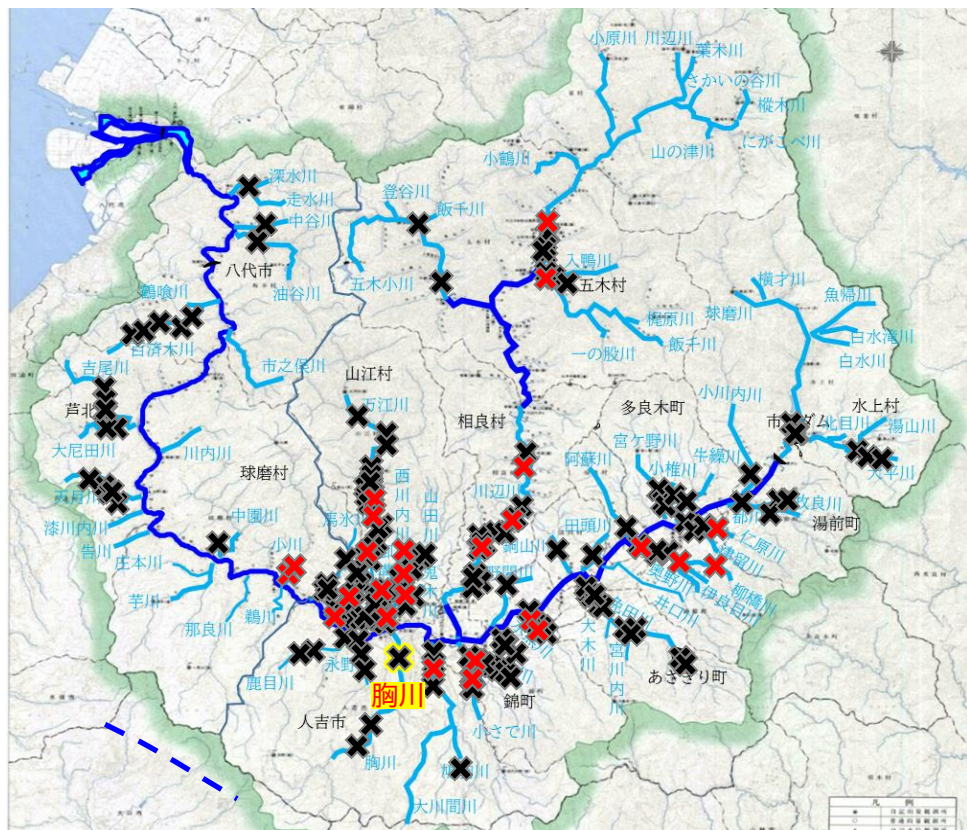
# 相良村内の川辺川河川整備について(2)

- 廻地区では、村が整備を進める交流拠点施設の10月の落成式を見据え、7月に階段護岸(1期)工事が完了予定。引き続き村と連携していく。
- 平川地区では、7月に2工区の護岸工事が完了予定。11月頃から護岸工事(3工区)に着手する予定。



# 堆積土砂の掘削について[県管理区間]

■ 県管理河川においては、毎年、出水等により堆積した土砂を次期出水までに撤去する掘削工事を行っており、令和2年7月の出水から令和8年5月末までに、**累計で約158万m<sup>3</sup>の土砂を撤去**。



- ✕ 令和2年7月～7年5月末までの掘削箇所図
- ✖ 令和7年6月～8年5月末までの掘削箇所図



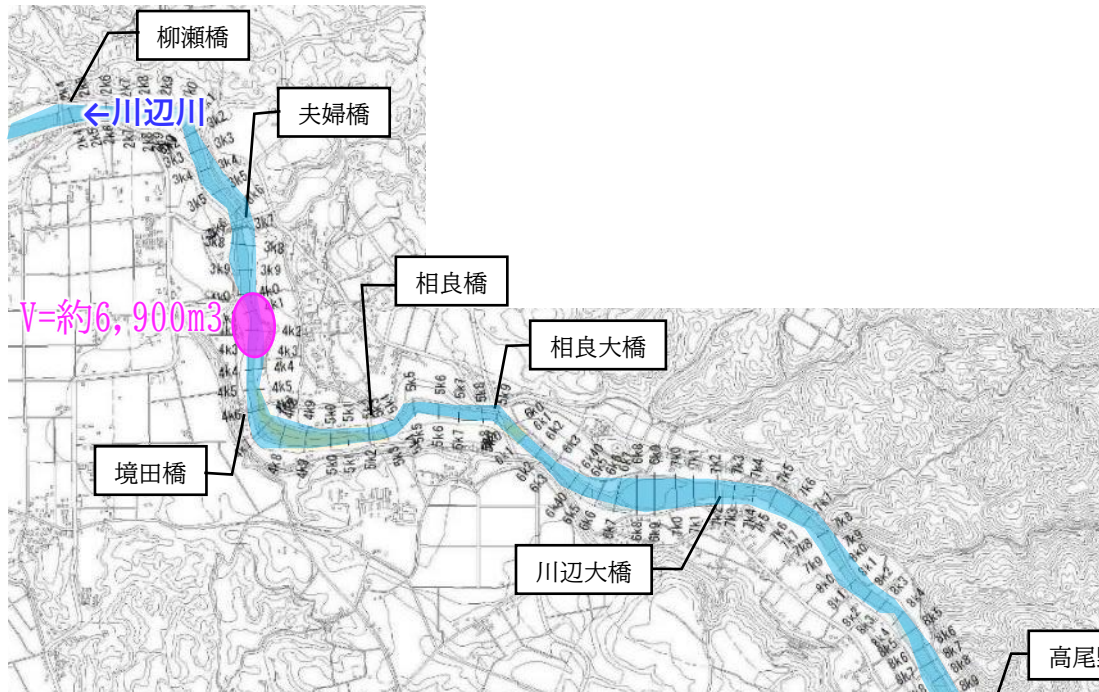
胸川・掘削前(人吉市南町)



胸川・掘削後(人吉市南町)

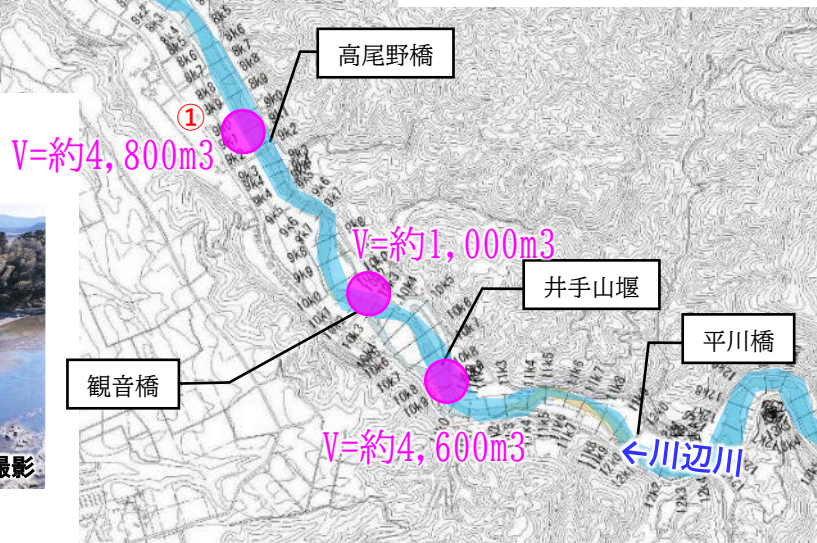
# 相良村における堆積土砂掘削状況(川辺川)

- **相良村の川辺川(県管理区間)でも**、令和2年7月の出水から令和8年5月末までに、**累計で約44万m<sup>3</sup>の土砂を撤去**。
- 引き続き、地元のご要望を伺いながら、河川の流下能力の維持を図る。



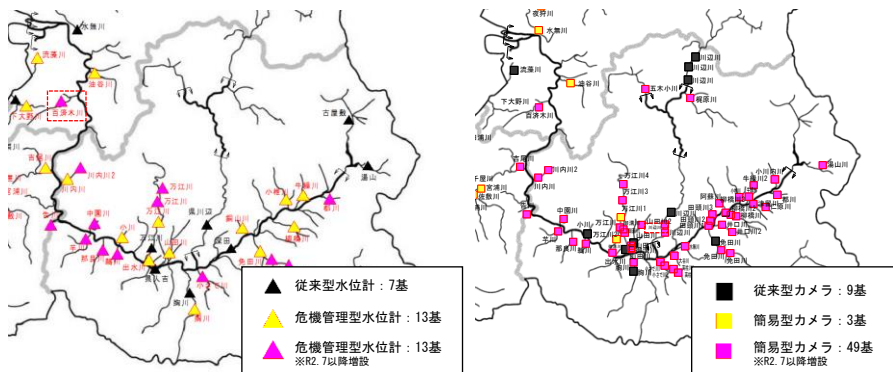
年度	掘削土量 (m <sup>3</sup> )
R2	約172,800
R3	約73,800
R4	約61,900
R5	約79,500
R6	約33,800
R7	約17,300

①高尾野橋付近



- 住民の円滑な避難の支援に向けて、洪水時の情報を関係機関に提供するため、令和2年7月豪雨以降、水位計13基、河川監視カメラ49基を増設（令和8年5月時点）。
- 洪水浸水想定区域図の作成公表を行い、分かりやすく閲覧できるよう、「防災情報くまもと」の改修を実施。

## 河川監視カメラ映像及び水位情報の発信



水位計 位置図（県管理）

河川監視カメラ 位置図（県管理）

- 球磨川流域においては、水位計33基、河川監視カメラ52基を設置済み。令和2年7月豪雨以降に、**水位計13基、河川監視カメラ49基（村内：2基）を増設**。

- 「川の防災情報」や「川の水位情報」で河川の状況に関する情報を発信。

### <河川監視カメラ映像>



## 洪水浸水想定区域図の作成・公表

- 想定最大規模（概ね1/1000以上の確率）の降雨による洪水浸水想定区域について、周辺に住宅等の防護対象のある河川を対象とし、令和3年10月までに全ての河川を指定。
- 市町村では、県で作成した洪水浸水想定区域図に、洪水予報等の伝達方法や避難場所等の、洪水時における円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載し、洪水ハザードマップが作成されている。
- 県ホームページ「防災情報くまもと」で、洪水浸水想定区域図をより分かりやすく閲覧できるよう、区域範囲や浸水深等をポップアップ表示する改修を実施。

